allcinema

ママの想い出（1948）

I REMEMBER MAMA

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 134分
初公開日 1949/04/26
公開情報 セントラル

【解説】

巨匠スティーヴンスの愛すべき小品で、こうした家庭劇の中でもとりわけの秀作。舞台は１９１０年代のサンフランシスコ。ノルウェイからの移民一家の物語で、Ｋ・フォーブスの自伝小説（『ママの銀行預金』）の戯曲化が原作。貧相な屋根裏部屋で一人の少女が、書き上げた原稿に目を通している。毎土曜の晩、父の給料を支払い別に分け終えると口癖に“ママの銀行預金に手をつけずにすんだ”と言う彼女の母を、その少女キャトリン（Ｂ・ベル・ゲデス）は暖かく回想する……。父は大工で生計を立て、貧しいが四人の子に恵まれ幸せだった。先に移民した伯父クリスはかなりの成功を収めていたが、足が悪く偏屈でケチで家族の苦手な相手。暮らしの足しに置いていた下宿人の元舞台俳優ハイド氏は、
度々家賃を滞らせたが、子供たちに芝居を読み聞かせキャトリンは特にそれを愛した。ママは気の弱い伯母トリナの遅い結婚話に慶んだが、相手が葬儀屋（腹話術師Ｅ・バーゲン）だというのを嫌がる他の伯母たちを上手くとりなし、末娘のダグマーが高熱で入院し面会謝絶となると病院の掃除婦に化けて慰める。そしてクリス伯父が死の病の床につく……。名脇役Ｏ・ホモルカ最良の演技である。彼の亡骸をいつまでも見つめる内縁の妻を限りない共感を持って描く演出も見事だ。やがてハイド氏は不渡りの小切手を置いて黙って家を出たが誰も不平を口にする者はない。残した戯曲集は何よりの置土産だった。いつしかママの励ましに小説をしたためるキャトリン。貰った原稿料をいさんで“ママの貯金”にと渡すが、ママは言う。“あれはお前たちを不安がらせない為の嘘。生活はいつもギリギリだったのよ”と……。美しく聡明で逞しく優しい、理想の母をＩ・ダンが完璧に演じた。

【クレジット】

監督	ジョージ・スティーヴンス	George Stevens	
製作	ハリエット・パーソンズ	Harriet Parsons	
製作総指揮	ジョージ・スティーヴンス	George Stevens	
原作	キャスリン・フォーブス	Kathryn Forbes	
原作戯曲	ジョン・ヴァン・ドルーテン	John van Druten	
脚本	デウィット・ボディーン	DeWitt Bodeen	
撮影	ニコラス・ムスラカ	Nicholas Musuraca	
編集	ロバート・スウィンク	Robert Swink	
音楽	ロイ・ウェッブ	Roy Webb	
出演	アイリーン・ダン	Irene Dunne	ママ（マーサ・ハンソン）
	バーバラ・ベル・ゲデス	Barbara Bel Geddes	ケイトリン・ハンソン
	オスカー・ホモルカ	Oskar Homolka	アンクル・クリス
	フィリップ・ドーン	Philip Dorn	パパ（ラース・ハンソン）
	サー・セドリック・ハードウィック	Sir Cedric Hardwicke	ジョナサン・ハイド

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

エドガー・バーゲン	Edgar Bergen	ピーター・ソーケルソン
ルディ・ヴァリー	Rudy Vallee	ドクター・ジョンソン
バーバラ・オニール	Barbara O'Neil	ジェシー・ブラウン
フローレンス・ベイツ	Florence Bates	フローレンス・デイナ・ムーアヘッド
エレン・コービイ	Ellen Corby	ティナ・ハルヴォーセン

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.